

IHE
JAPAN

Integrating
the Healthcare
Enterprise

本資料における以下の用語、マークはHL7 Internationalの商標です。
HL7 → HL7®, CDA → CDA®, FHIR → FHIR®

IHE勉強会 2024.03.02 SAT
接続検証委員会

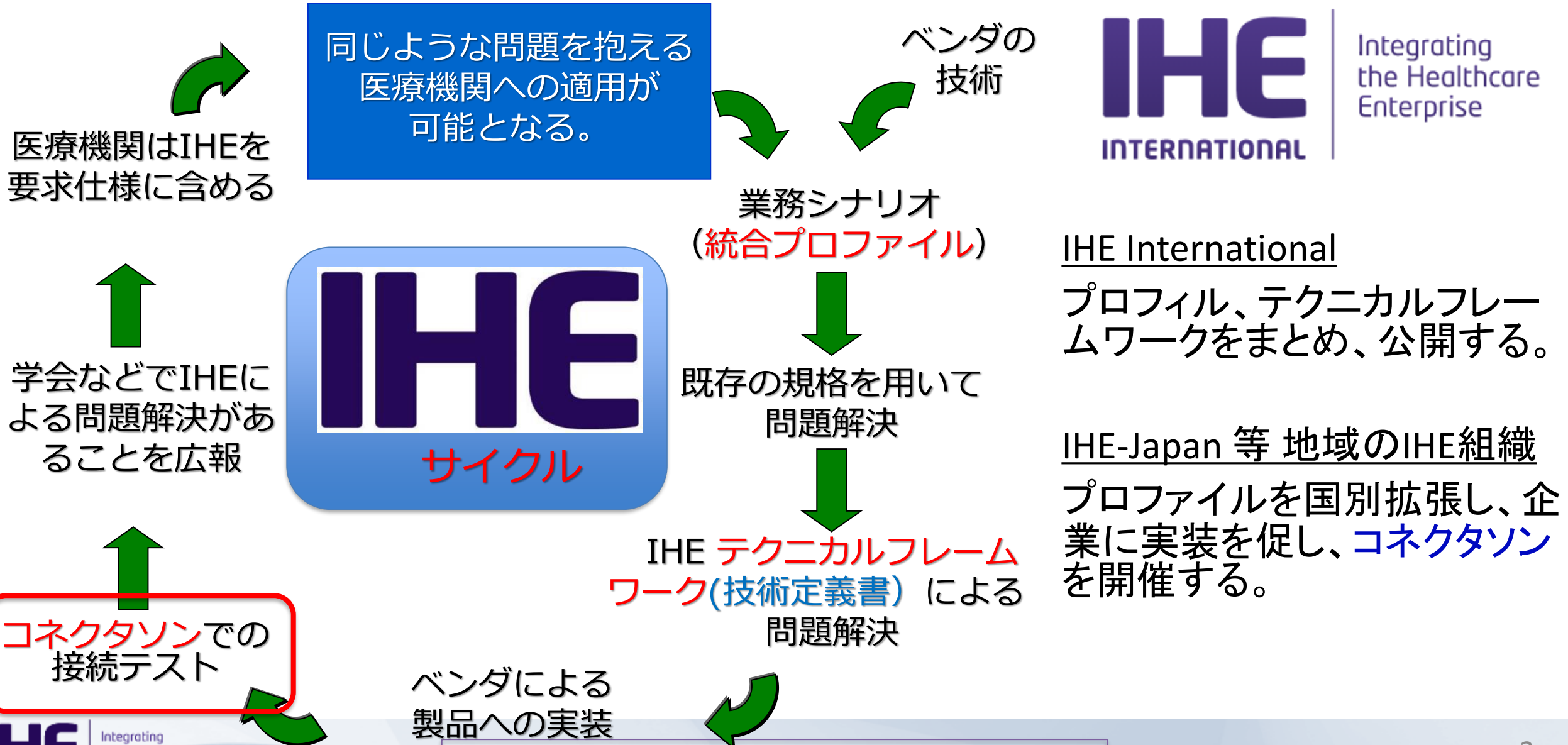
コネクタソンとコネクタソンシールの魅力

一般社団法人 日本IHE協会
副理事長 接続検証委員会委員長

塩川 康成

キャノンメディカルシステムズ株式会社
日本HL7協会 適合性認定委員長
日本医療情報学会 理事 倫理委員会副委員長
上級医療情報技師 S2007007
上級医療情報技師育成指導者

IHE サイクル: 普及推進の為の自己回帰型活動



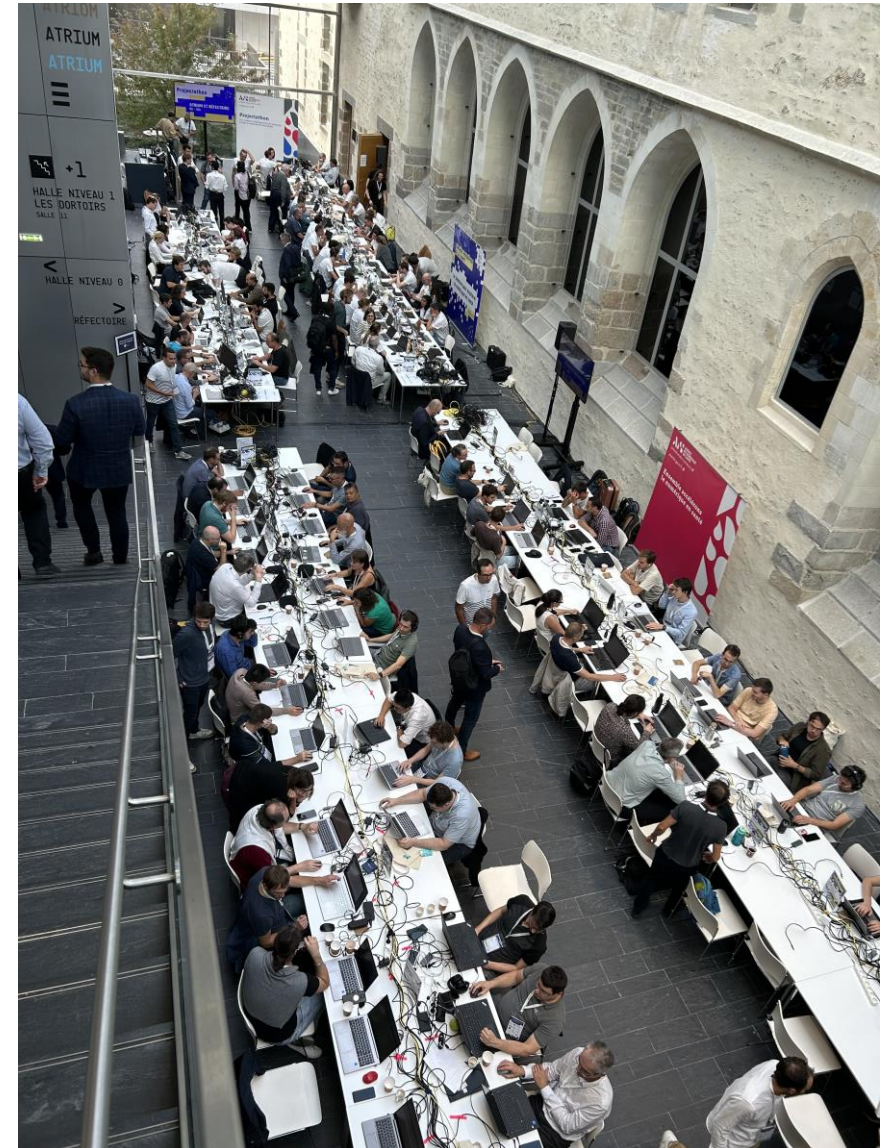
IHE コネクタソン:ベンダに接続検証の場を提供



IHE EU Connectathon 2023 Rennes France Sep.25-29 2023

IHE 勉強会(ベンダ営業・医療従事者様向け) 2024-03-02

IHE プロジェクトソン:プロジェクト向け検証



IHE EU Connectathon 2023 Rennes France Sep.25-29 2023

IHE 勉強会(ベンダ営業・医療従事者様向け) 2024-03-02

IHE SHARAZONE:コンテンツ検証エコシステム

The image shows a screenshot of the IHE SHARAZONE website on the left and a process overview diagram on the right.

Website Screenshot:

- Logo: IHE EUROPE Integrating the Healthcare Enterprise
- Navigation: Home, About Us, For Governments, For Users, For Vendors, Twitter, YouTube, LinkedIn
- Sub-navigation: Connectathon, Conformity Assessment
- Section: IHE SHARAZONE
- Text: "Have you ever wanted to make sure an application medical images coming from a variety of sources and vendors? What if vendors were able to perform this testing on their products were released to the market?"
- Image: IHE SHARAZONE New Dimension in Interoperability
- Text: "To address this important need, IHE is introducing a new test service, called SHARAZONE. The IHE SHARAZONE is a distinct, continuous DICOM object interoperability testing service within the IHE Connectathon. It uses a legal framework similar to that of the IHE Connectathon for continuous DICOM object interoperability testing between vendors. The IHE SHARAZONE concept is built on existing, well-proven tooling: a dedicated Gazelle capability which is available globally, 24/7 to registered participants."

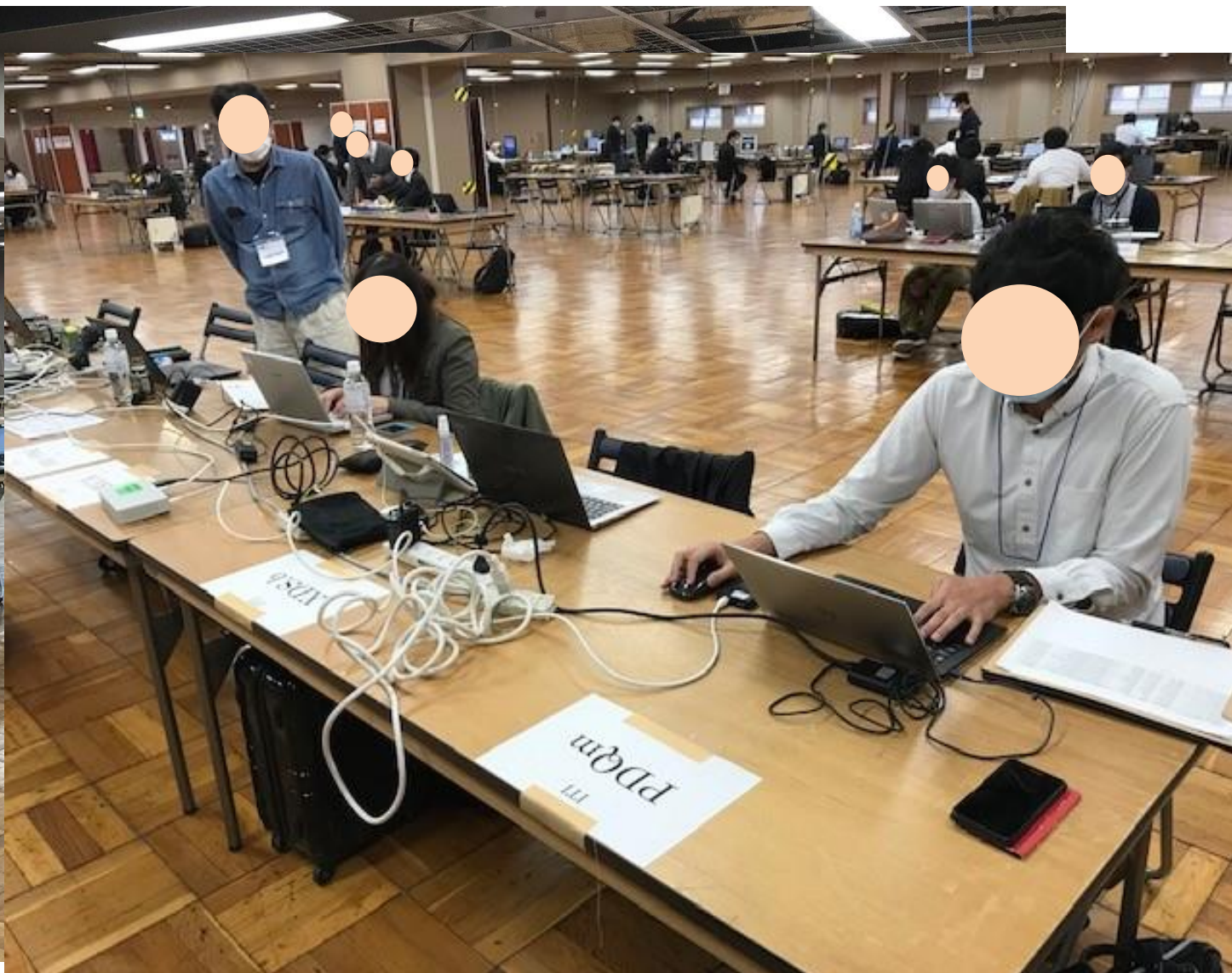
Process Overview (2) Diagram:

- Consumer Participant:** Download Test Input - Execute Testing → Upload Test Report
- Test Platform:** Register in Gazelle (dashed box), Repository of Shared Test Inputs, Test Workflow
- Creator Participant:** Share Test Input: *Test Items + Test Suite → Review Test Report
- Administrator:** Facilitate and monitor testing (Contract + NDA)
- Dialogue:** Circular arrow between Consumer and Creator participants.

https://www.ihe-europe.net/IHE_SHARAZONE

IHE 勉強会 (ベンダ営業・医療従事者様向け) 2024-03-02

日本コネクタソン2021 10/25月～29金



場所: 東京都産業貿易センター台東館7階(東京 浅草)

IHE 勉強会(ベンダ営業・医療従事者様向け) 2024-03-02

コネクタソンの意義

IHE実装ベンダに接続試験の場を提供する。

- ← 開催各地の独自の審査基準と運営ルール
開催国、地域のNational Extensionを重視
- ← 審査員はボランティアで募集した一般人（日本では技術委員）
- ← 合格企業は公開されるが開催地別（NA、EU、JP...）
- ← 他地域の合格は審査上考慮されない
- ← IHE International は開催承認はするが、運営には干渉せず

⇒ IHEが認定を与える場ではない

= ベンダはコネクタソン合格を前提として、自己責任にてIHE統合宣言書を公開し、自社製品がIHEに適合していることを示す。

コネクタソン結果表 (プロファイル実装した会社リスト)



トップページ

日本IHE協会概要

会員募集・会員名簿

新着情報・お知らせ

行事・活動カレンダー
・コネクタソン

認定技術者試験

導入コンサルティング

公開文書

技術情報

- ・ IHEとは
- ・ 動画による紹介
- ・ テクニカルフレームワーク
- ・ 用語集
- ・ IHE関連書籍
- ・ Q & A

導入情報: 事例紹介

- ・ 導入状況調査のお願い
- ・ コネクタソン結果表
- ・ IHE対応製品情報

IHE netPDI 商標登録

netPDI 解説

PDI チェックツール
レベル3 販売開始

ご意見・ご質問

日本IHE協会
Facebook

部門	放射線検査							循環器検査				内視鏡検査		患者ケアデバイス	ITインフラストラクチャ									
	統合プロフィール	ARI	PDI	PIR	REM	REM-NM	SWF	CATH	ECG	ECHO	ED-CARD	EIA	EFW	DEC	A T N A	CT	PAM			PDQ	PDQm	XDS.b		
参加ベンダー	アクタ (オプション)	Image Display Image Display (MULTIPLE_SRCS) Image Manager / Archive Display Image Display Portable Media Creator Portable Media Creator (Web Content) Portable Media Importer ADT Patient Registration Acquisition Modality Image Manager / Archive Order Placer Dose Information Consumer Image Manager / Archive Acquisition Modality Acquisition Modality Dose Information Consumer Image Manager / Archive Order Filler Radiopharmaceutical Activity Supplier Image Display Image Manager / Archive Acquisition Modality Order Placer Order Filler Order Placer Display Information Source Acquisition Modality Acquisition Modality (PPS Exception Management) Order Filler Order Placer Image Manager / Archive Acquisition Modality (Echo Evidence) Image Display (Echo Evidence) Acquisition Modality Image Manager / Archive Order Filler + Performed Procedure Reporter Order Filler + Performed Procedure Reporter Order Placer Device Observation Consumer Device Observation Reporter Secure Node Time Client Time Server Patient Demographic Consumer Patient Demographic Supplier Patient Encounter Consumer (Advanced Encounter Management) Patient Encounter Consumer (Inpatient/Outpatient Management) Patient Encounter Supplier Patient Encounter Supplier (Advanced Encounter Management) Patient Demographic Consumer Patient Demographic Supplier Patient Demographic Consumer Patient Demographic Supplier Document Consumer Document Registry Document Repository Document-Source																						
アレイ (株)	●	●	●	●	●	●	●									●								
- AOC7	○		○	○	○	○										○								
- Radames																								
(株) SBS情報システム			●							●													●	●
オリンパスメディカルシステムズ (株)																							●	●
キヤノンメディカルシステムズ			●	●	●	●																		
(株) グッドマン					●																			
コニカミノルタ (株)			●	●	●	●																		
(株) ソフトウェア・サービス																								
ソフトマックス (株)																								
ティアック (株)																								
東洋メディック (株)						●																		
日本アイ・ビー・エム (株)																								
日本光電工業 (株)																								
日本電気 (株)																								
PDRファーマ (株)																								
- Bridgea GATEWAY																								
(株) ファインデックス			●	●	●	●																		
フクダ電子 (株)																								
富士フイルム医療ソリューションズ (株)																								
- RADISTA Workflow																								
富士フイルムヘルスケア (株)																								
富士フイルムメディカル (株)		●		●	●	●																		
富士フイルムメディカルITソリューションズ (株)																								
(株) モリタ製作所																								
- I-Dixel				○																				
(株) ユーズテック																								
(株) RYUKYU ISG																								
- onti																								

▶ IHE導入状況調査(アンケート)へのご協力をお願い

IHE 勉強会 (ハンタ 呂 菜・医療従事者様向け) 2024-03-02

https://www.ihe-j.org/

コネクタソン合格の意味

- 対象ベンダは、コネクタソンの場で複数の他の製品、半製品とIHEの手順で連携し、基本的な情報共有ができたことを意味する。
- したがって、対象ベンダはIHEの意義や、合格対象プロフィールの実装要件を理解し、製品実装する能力があることをIHEは公表する。
- ただし、コネクタソンでは全てのIHEの要件について、実装確認をするものではない。
- 即ち、このベンダの**対象製品が確実に実装していることを、IHEが保証するものではない。**
 - したがって、IHE要件での実装をコネクタソン合格ベンダーに発注したが、多額のオプション費用を請求された、という苦情が多く、ユーザーにとってコネクタソンの意義が劣化していた。
- 合格対象スコープはコネクタソン開催地域のみで、地域の個別要件の実装が含まれることがある。

各社は統合宣言書でIHE準拠を公表するが...

病院側が要求仕様でIHE手順でのシステム連携を明記していたとしても...
いざ構築段階に入ると、ベンダーからのこんな言葉で「がっかり」することがあるようです。

IHE準拠はしていますが、オフションですので、導入には追加費用がかかります

IHEで構築すると、IHEの要件しか実装できませんが、それでもやりますか？

IHEで構築すると、当社標準I/Fと異なる為、拡張要件開発で高額がかかります

そろそろ、日本はデジタル後進国である、という危機感を持ちましょう。

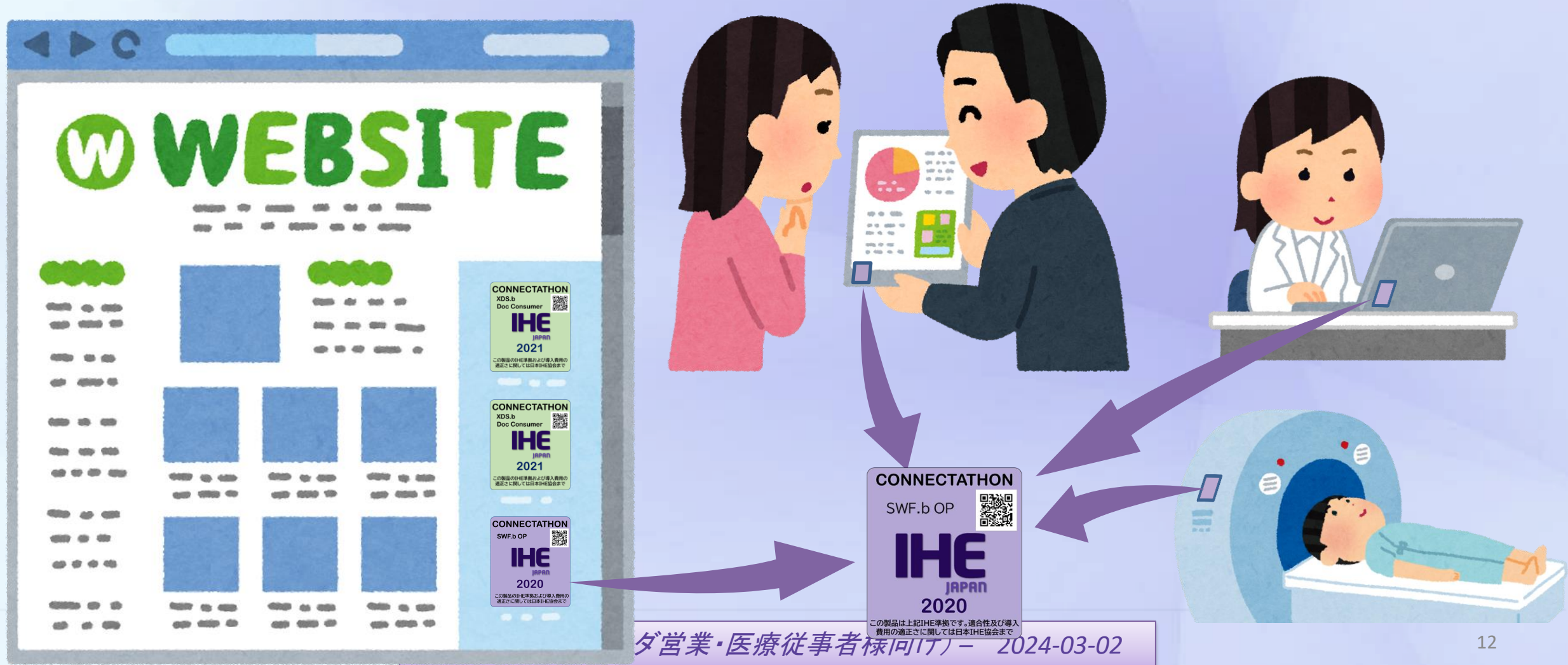
コネクタソンシール制度とは

- 「コネクタソン合格した」というシール(マーク)を商材に添付できます。
- IHE統合宣言書の補助的な機能であり、[統合宣言書の公開が前提](#)です。
- シールデザインは IHE International により法的に保護されています。
- コネクタソン開催の国、地域毎に発行します。
- コネクタソン[合格年](#)が入りますが、添付期間に制限はありません。
- シールの利用については協会にお申し込みの上、代金納付が必要です。
- 適合性認定シールとは異なり、IHEは製品品質を保証いたしません。
- 日本ではシール下部に以下の文書を掲載します。
「この製品は上記IHE準拠です。適合性及び導入費用の適正さに関しては日本IHE協会まで」
- QRコードにて統合宣言書へのリンクをつけます。



コネクタシールを使うと...

製品紹介ホームページや、パンフレット等の商材や、PC、モニタや、ガントリー、イメージプロセッサなどの実機に添付してアピールできます。



CONNECTATHON

A

B

IHE

JAPAN

2020


この製品は上記IHE準拠です。適合性及び導入費用の適正さに関しては日本IHE協会まで

コネクタソンシールの使用方法

- コネクタソンシールはイメージファイルのご提供になります。
- 製品に添付するシールには、以下の項目を追加して下さい。
 - (1)合格した統合プロフィールとアクター名 (A領域)
 - (2)製品の統合宣言書のURLを示すQRコード (B領域)
- 統合プロフィール名には、略号を使用して下さい。アクター名には、略号があれば略号を、ないときは英語で記載して下さい。
【例】 SWF.b OF, OP, IM/IA
XCA Initiating Gateway
CT Time Server
- プロファイル、アクター名は文字サイズを調整し、複数併記しても構いません。
- QRコードの大きさは、サンプルを参考にして、同じようなレイアウトにして下さい。
- 製品に貼付するシールのサイズは、最適なサイズに拡大縮小して下さい。
(縦横比の変更や、AB領域以外のデザイン変更は不可)。



文字のフォントと色

- プロファイル、アクター名 (A領域):
Arial Rounded MT Bold、色は黒
【例】 SWF.b OP
- QRコード (B領域) 例: <https://www.ihe-j.org/> 
- A,B領域の広さは変更できませんので、フォントサイズを適切に調節して、記載して下さい。
- 日本IHE協会が提供するデザインファイルは、
(1) Powerpointファイルと、(2) PNGファイルです。
- シール等、物理的に製品に添付する場合の印刷加工等につきましては、各ベンダーにてお願いいたします。



EU Connectathon でも発行予定！

<https://connectathon.ihe-europe.net/ihe-connectathon-seal>

- コネクタソンシールは日本提案で、IHE Internationalが2020年に承認した国際的な制度です。
- これまでは日本でのみシール発行をしておりました。
- 日本でのシール発行実績を受けて、International側でもシールの利点に注目し、今年よりEU Connectathonで、Sealの発行を実施します。
- シールは地域のコネクタソンそれぞれで発行しますので、日本でも並行でシールの発行を続けて参ります。

- IHE 勉強会 (ベ

The screenshot displays the IHE Europe Connectathon website. At the top, there is a navigation bar with links for Home, IHE International, IHE-Europe, and Contacts. The main header features the IHE Europe logo and the event details: CONNECTATHON TRIESTE, JUNE 3-7 2024. Below the header, there are tabs for Connectathon WEEK (2023, 2024) and IHE Connectathon SEAL. The main content area is titled 'IHE Connectathon SEAL' and includes a QR code and a description: 'The IHE Connectathon SEAL is a new IHE mechanism to recognize a vendor's interoperability capability.' To the right, there is a call to action: 'Want to know more about how IHE-Europe Connectathon can help your eHealth programme or project? Please contact IHE-Catalyst by email.' Below this, there is a 'Useful LINKS' section with links to Connectathon Results, Technical Registration & Resources, and Products Registry. At the bottom, there is a 'Subscribe' button for the IHE-Europe newsletter.

コネクタソシールを採用して日本の医療ITを変えよう！

【医療機関の皆様】

既存の情報システムを拡張する際は、
新たに情報システムを構築する際は、

是非とも**コネクタソシールがついた製品を選びましょう！**

【医療システムベンダの皆様】

外部システムとの標準連携インターフェイスは、ベースをIHEで開発し、
是非とも**コネクタソシールがついた製品にしましょう！**

その上で、拡張が容易にできる仕組みを提供しましょう！

日本は法律で強制しなくても、しっかりやれる国のはずです！



ご清聴ありがとうございました。